



木下小だより「あすなろ」

学校評価結果①

令和7年2月28日
印西市立木下小学校

学校評価アンケート(保護者)について

いよいよ明日から3月を迎え、卒業式や修了式が近づくなど、令和6年度もいよいよ終わりが近づいてきました。残りわずかとなりましたが、最後まで職員一同全力で取り組んでいきます。

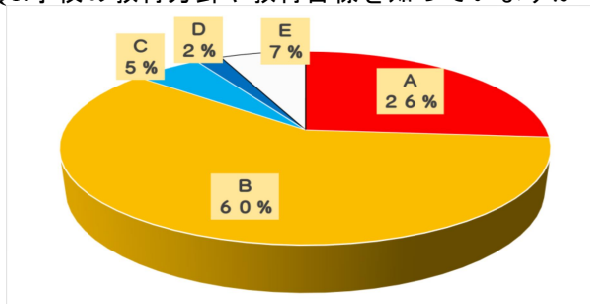
さて、今回は1月に行った「学校評価アンケート(保護者)」の集計結果(抜粋)についてお知らせし、今年度の学校経営を振り返っていきたいと思います。1年間、木下小学校へのご理解・ご協力、本当にありがとうございました。この場を借りて、御礼申し上げます。

校長 安川 徹

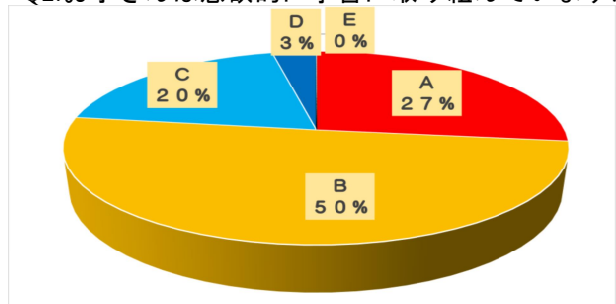
**A「そう思う」 Bどちらかというと思う C「どちらかというと思わない」
D「そう思わない」 E「わからない」**の回答です。

また、小数点第一位を四捨五入して、整数で表記しています。

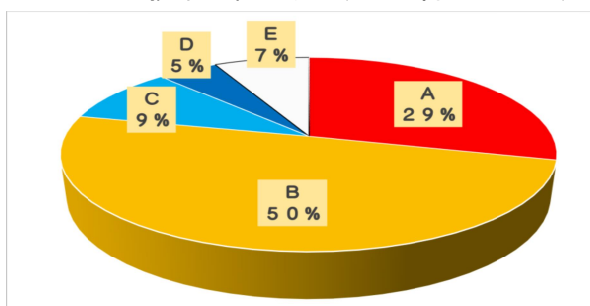
Q1.学校の教育方針や教育目標を知っていますか



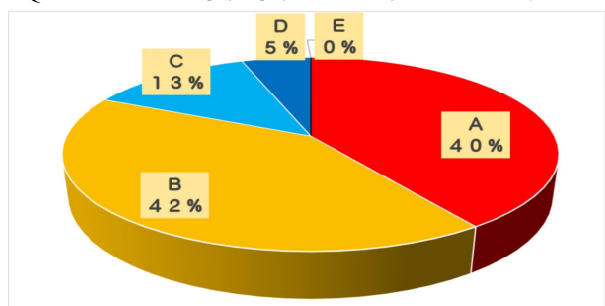
Q2.お子さんは意欲的に学習に取り組んでいますか



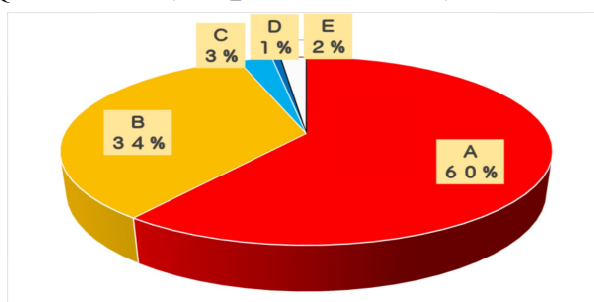
Q3.お子さんは授業がわかりやすいと言っていますか



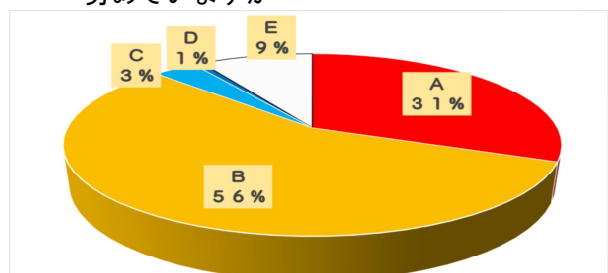
Q4.お子さんは家庭学習に取り組んでいますか



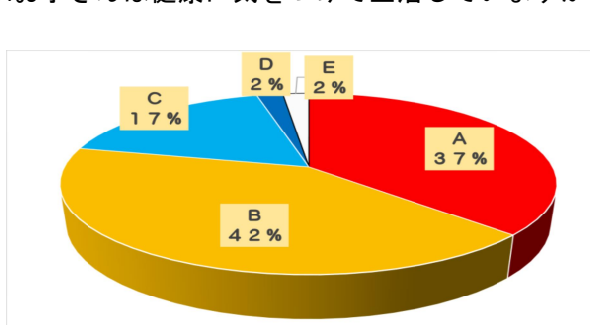
Q5.お子さんは友達を大切にしていますか



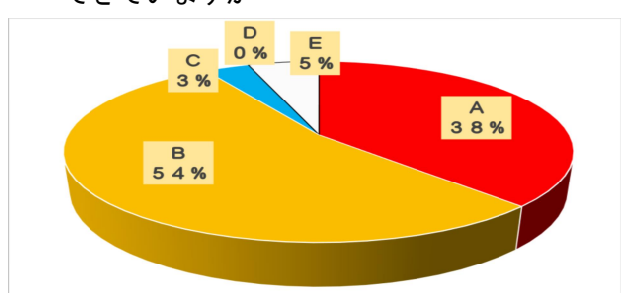
Q6.学校は豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていますか



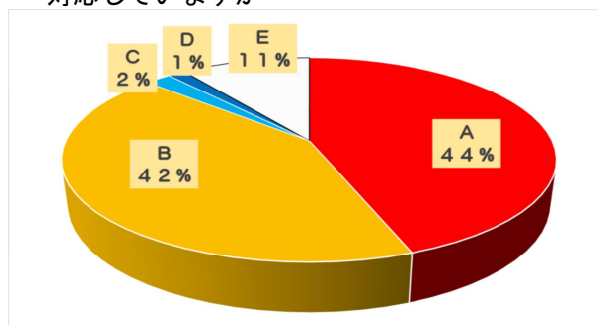
Q7.お子さんは健康に気をつけて生活していますか



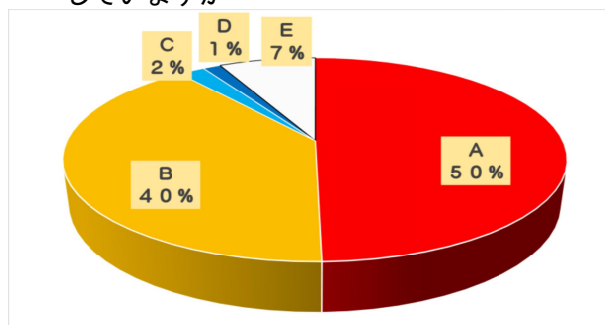
Q8.学校は一人一人を大切にしたい指導や対応ができていますか



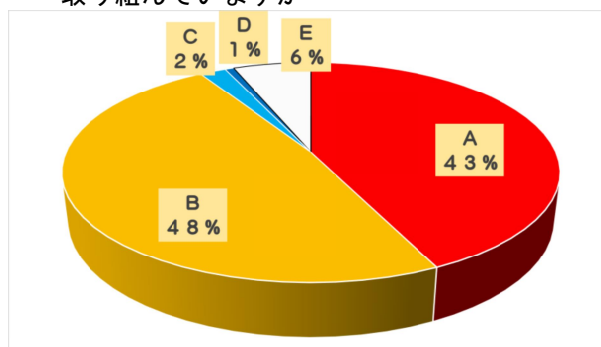
Q9.いじめがあった時、学校はすぐに話を聞いて対応していますか



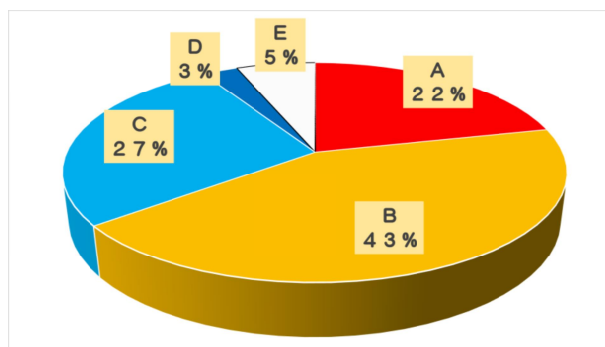
Q10.困ったことがあった時、先生方は迅速に対応していますか



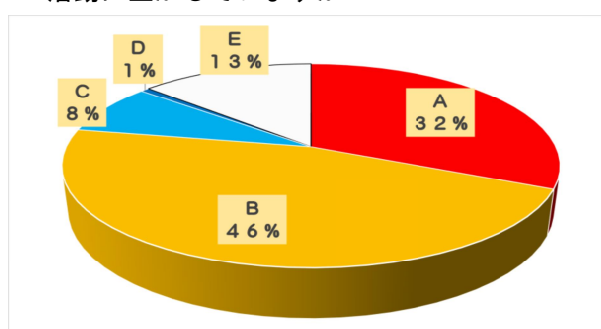
Q11.学校は子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいますか



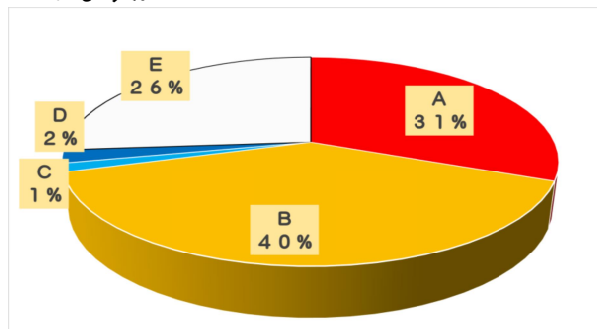
Q12.学校の施設・整備は整っていますか



Q13.学校は市や地域の環境・施設・人材を教育活動に生かしていますか



Q14.学校は特別支援教育に力を入れて取り組んでいますか



<集計結果（抜粋）>

※保護者アンケートと児童アンケートをまとめた記載です。

※A Bの割合を肯定的な回答、C Dを否定的な内容としています。また、文章内における比較対象は昨年度の学校評価アンケートです。

1 「教育方針・教育目標の認知」

「教育方針・教育目標の認知について」

児童アンケートでは肯定的な割合が85%、保護者の割合が86%でした。昨年度と比較すると、児童は下がり、保護者は上がっています。

保護者については、毎月の学校だよりや日々のホームページ等を利用した情報発信について積極的に行った成果といえます。一方児童については、学校生活の様々な場面において、引き続き、めあてや目標をより明確にした教育活動を進めるよう努めます。

2 「学習への取り組み」 3 「授業のわかりやすさ」

2 「学習への取り組み」については、児童アンケートの肯定的な割合86%で昨年度より2%上がりましたが、保護者アンケートは77%で1%下がりました。3 「授業のわかりやすさ」については、児童アンケートの肯定的な割合は88%で昨年度より3%下がり、保護者アンケートも昨年度と79%で昨年度と同程度でした。

児童が主体的・対話的で深い学びを行えるよう、現在、個別最適な学びと協働的な学び

の一体的な充実を図れるような授業改善を目指しているところです。I C T機器等を効果的に活用し、新たな教材や学習活動等を取り入れていきます。また、校外・校内研修等を通じて、児童が学習に意欲的に取り組める工夫のある授業づくりを行えるよう、引き続き教員の指導力向上を図ります。

4「家庭学習の推進」

児童アンケートでは肯定的な割合が87%で昨年度より4%下がり、保護者アンケートは82%で昨年度と同程度でした。変化があり、児童の意欲を高められるような課題を設定する中で、自己調整学習を一層進め、計画的な学習への取り組みの定着を図ります。また、引き続き家庭教育を振り返る活動等をとおして、さらなる定着を図れるよう努めていきます。

5「友達を大切にせる教育」 6「豊かな人間性を育む教育」

5「友達を大切にせる教育」については、児童アンケートの肯定的な割合が93%、保護者アンケートは94%、6「豊かな人間性を育む教育」については、児童アンケートの肯定的な割合が90%、保護者アンケートは87%でした。今後も、日常生活において友達との関わり方を考えたり、互いのよさを認め合ったりする等の活動を通して、周りに対して感謝の気持ちをもって生活する児童の育成に努め、あわせて、道徳の授業の充実を図っていきます。

8「一人一人を大切にした対応」

児童アンケートでは肯定的な割合が89%、保護者アンケートは92%でした。高い数値であり、昨年度と比較してもどちらも上がっています。学校生活の様々な場面において、今後も肯定的な声かけや支援を意識し、児童が笑顔で前向きに学校生活を送ることができるように引き続き努めていきます。

9「いじめの対応」

児童アンケートでは肯定的な割合は91%、保護者アンケートでは86%でした。昨年度と比較すると、児童は同程度でしたが、保護者は6%とかなり上がる結果となりました。普段の児童の変化に気を配るとともに、教育相談等からいじめの早期発見に努めること、問題があった際には迅速に対応し、保護者の方への確実に連絡し、情報の共有を図ってきた成果であると捉えます。これからも、どの学校・どの学級にもいじめは起こりうることを念頭に置いて日々の取り組みを行い、引き続き安心してお子様が登校できる学校づくりに努めていきます。

14「特別支援教育」

「わからない」の割合が26%ありました。特別支援学級ならびに通常学級の中での特別な支援が必要な児童への対応については、特別支援教育コーディネーターを中心に取り組んでいますが、周知が十分でないと言えます。

インクルーシブな教育に向けて、特別支援教育への理解を進めることは大切です。特別支援教育に関する取り組みについて、学校だよりやホームページ等を利用しての情報発信を積極的に行うよう努めます。

木下小学校は、児童・保護者・学校が笑顔となるよう、今後も「児童一人一人が持つ良さや可能性を見出し引き出す学校」「自己の考えを表現でき学びへの意欲を高められる学校」「他人を大切にせる豊かな心を育み児童が安心して通える学校」にするために、共通理解のもと、より組織的に教育活動に励んで参ります。

アンケートのご協力ありがとうございました。